

船岡～大河原地区模式柱状図

地質時代	地層名	柱状図	厚さm	地質	備考
第四紀	沖積世	表土 氾濫原堆積層	<10	ローム・粘土 (腐植土層をはさむ) (下部に小礫まじり)	槻木～船岡に泥炭層分布1m程度の厚さで粘土層と互層
		低湿地堆積層			
	洪積世	段丘堆積層	5～10	砂 (小礫・粘土まじり)	帯水層
			5～10	粘土 (砂・小礫まじり)	軟弱層
		扇状地堆積層	10～15	砂礫 (粘土まじり)	帯水層
第三紀	中新世	槻木層		泥岩 砂岩 砂質凝灰岩	帯水層

白石地区模式柱状図

地質時代	地層名	柱状図	厚さm	地質	備考
第四紀	沖積世	表土 氾濫原堆積層	<10	粘土 (泥炭層をはさむ)	泥炭層厚1m以下
		低湿地堆積層			
	洪積世	段丘堆積層	15～20	砂 (粘土層・小礫を含む)	帯水層
		扇状地堆積層	<10	砂礫	帯水層
第三紀	中新世	槻木層		砂質凝灰岩 砂岩	帯水層

軟弱層の分布状況は、阿武隈川及び白石川の自然堤防の間の低地では泥炭層(層厚1メートル前後)が広く分布しており、洪積層の段丘及び扇状地堆積層中にも層厚数メートルに及ぶ粘土層が認められている。

なお、別に添付している「地盤沈下状況類型図」は昭和53年度における地盤沈下状況を3類型に区分して示したものである。